

バックアップと復元

いつでも手動でバックアップできます。すべてのファブリック設定とインテントを自動または手動でバックアップするようにスケジューラを設定することもできます。

次のいずれかの形式を使用してバックアップおよび復元できます。

- **設定のみ**：設定のみのバックアップの方が小さくなります。これにはインテント、依存データ、検出情報、ログイン情報、およびポリシーが含まれています。このバックアップからの復元には、機能するファブリック、スイッチの検出、予期される設定、およびその他の設定が含まれています。
- **完全**：フルバックアップは大規模です。これには、現在のデータ、履歴データ、アラーム、ホスト情報、および設定のみのバックアップのすべてが含まれます。このバックアップからの復元には、機能的な履歴レポート、メトリックグラフ、およびすべての基本機能があります。

構成のみのバックアップまたは完全バックアップを復元できます。

バックアップを復元するときは、設定のみの復元または完全な復元を選択できます。設定のみの復元では、設定（インテント、検出情報、ログイン情報、ポリシー）のみが復元され、設定のみのバックアップと完全バックアップの両方を使用して実行できます。完全な復元は、設定と、現在および過去のデータ、チャートなどを復元し、完全バックアップのみを使用して実行できます。

（注） 新規インストール後、バックアップデータを復元する前に、最低 20 分間待機してください。新しくインストールしたセットアップでバックアップをすぐに復元すると、一部のアプリケーションが動作しない場合があります。

アップグレード後の機能の互換性

次の表に、NDFC、リリース 12.1.1e へのアップグレード後に DCNM 11.5(x) バックアップから復元される機能に関連する警告を示します。

（注）　11.5(x) には、リリース 11.5(1)、11.5(2)、 のみが含まれます。11.5(4) から 12.1.1e へのアップグレードはサポートされていません。

DCNM 11.5(x) の機能	**アップグレードのサポート**
vCenter による VMM の可視性	サポート対象
設定されたプレビュー フィーチャー	サポート対象外
IPv6 で検出されたスイッチ	サポート対象外
DCNM トラッカー	サポート対象外
ファブリックのバックアップ	未サポート
レポート定義とレポート	未サポート
スイッチのイメージとイメージ管理ポリシー	サポート対象外
イメージ/イメージ管理データの切り替え	11.5(x) から 12.1.1e に引き継がれない
アラーム ポリシーの設定	11.5(x) から 12.1.1e に引き継がれない
パフォーマンス管理データ	アップグレード後、最大 90 日間の CPU/メモリ/インターフェイス統計情報が復元されます。

このセクションの内容は次のとおりです。

スケジューラ

スケジューラの目的は、システムを復元する必要がある場合にシステムのバックアップを取ることです。リモートロケーションにバックアップする必要があります。

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からアプリケーションおよび設定データのバックアップをスケジュールするには、次の手順を実行します。

始める前に

スケジュールされたバックアップジョブがない場合は、**[スケジュールが設定されていません（No Schedule set）]** が表示されます。

手順

ステップ 1 **[スケジュール設定なし（No Schedule set）]** をクリックします。

[Scheduler（スケジューラ）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 **[スケジュールされたバックアップの有効化（Enable Scheduled backups）]** チェックボックスをオンにします。

ステップ 3 **[タイプ（Type）]** で、復元する形式を選択します。

- **[構成のみ（Config only）]** または **[完全（Full）]** を選択します。

ステップ 4 **[ファイル パス（File Path）]** フィールドに、バックアップ ファイルを保存するディレクトリの絶対パスを入力します。

ステップ 5 バックアップディレクトリに**ユーザー名**と**パスワード**を入力します。

ステップ 6 バックアップ ファイルに対する**暗号キー**を入力します。

バックアップから復元するには、暗号化キーが必要です。暗号化キーは、機密情報を含むバックアップファイルの一部を暗号化するために使用されます。

ステップ 7 **[日単位で実行（Run on days）]** フィールドで、チェックボックスをオンにして、1 日以上のバックアップジョブをスケジュールします。

ステップ 8 **[開始時刻（Start at）]** フィールドで、タイムピッカーを使用して特定の時刻にバックアップをスケジュールします。

タイムピッカーは 12 時間制です。

ステップ 9 **[バックアップのスケジュール（Schedule backup）]** をクリックして、スケジュールに従ってバックアップジョブを実行します。

Restore（復元）

（注） 新規インストール後、バックアップデータを復元する前に、最低 20 分間待機してください。新しくインストールしたセットアップでバックアップをすぐに復元すると、一部のアプリケーションが動作しない場合があります。

機能が有効になっていない、新しくインストールされた Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ でのみ復元を実行できます。

物理的な Nexus Dashboard からバックアップを取得して、仮想 Nexus Dashboard で復元することはできません。

3 ノードクラスタのバックアップを取得して、1 ノードクラスタに復元することはできません。

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UIからアプリケーションおよび構成データを復元するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [復元（Restore）] をクリックします。

[今すぐ復元（Restore now）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 **[種類（Type）]** で、復元する形式を選択します。

- **[構成のみ（Config only）]** または **[完全（Full）]** を選択します。

ステップ 3 （オプション）**[外部サービスの IP 設定を無視する（Ignore External Service IP Configuration）]** チェックボックスをオンにします。

[外部サービスの IP 設定を無視する（Ignore External Service IP Configuration）] チェック ボックスがオンになっている場合、外部サービスの IP 設定は無視されます。この選択により、システムでバックアップを作成し、それを別の管理サブネットやデータサブネットを持つ別のシステムに復元することができます。

このオプションは、Cisco DCNM 11.5(x) から Cisco NDFC へのアップグレード中には影響しません。

ステップ 4 [復元（Restore）] をクリックします。

バックアップ ファイルが [バックアップと復元（Backup＆Restore）] ウィンドウの表に表示されます。復元に必要な時間は、バックアップ ファイルのデータによって異なります。

今すぐバックアップ

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からアプリケーションおよび設定データのバックアップを取得するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **[今すぐバックアップ（Backup Now）]** をクリックします。

ステップ 2 **[タイプ（Type）]** で、復元する形式を選択します。

- **[構成のみ（Config only）]** または **[完全（Full）]** を選択します。